２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	表象文化論教室
課程	博士前期課程
試験区分	~~□　一般学生~~ ■　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	日本語
出題の意図	研究に必要な専門書の読解力と、日本語による学位論文作成にふさわしい文章力をみる。【問１】・【問２】ともにこうした意図のもとでつくられている。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

別紙１は、室井尚『ポストアート論』所収の文章である。全文を読んで、各設問に答えなさい。

【問１】　別紙１の文章を、答案用紙15行程度に要約しなさい。

【問２】　『ポストアート論』は、インターネットの一般的普及以前（1988年）に書かれた書物である。そのことを踏まえたうえで、傍線（１）で言われていることが、インターネット普及後の今日的状況ではいかなる意味を持つか、答案用紙８行以上で論じなさい。

【別紙1】

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典　室井尚『ポストアート論』。

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	表象文化論教室
課程	博士前期課程
試験区分	■　一般学生 ■　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	専門知識
出題の意図	【問１】　表象文化論研究に必要な知識・教養、思考力、文章表現力をみる。 【問２】　表象文化論研究に必要不可欠な基礎知識を問う。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2026年度　表象文化論分野　博士前期（修士）課程　専門知識

（【問１】と【問２】でそれぞれ別の答案用紙を使用すること）

【問１】以下の１～３からひとつを選び、解答しなさい。なお、選択した番号を最初に書いてから始めること。

１．任意の芸術作品について、その特徴を説明したうえで、「偶然性」という観点から論じなさい。

２．任意の文化的事象あるいは芸術的事象をひとつ取り上げ、「フェイク」という観点から論じなさい。

３．芸術や文化が産業化・商業化される過程において、いかなる問題が生じ、またいかなる可能性が開かれるか。具体例を挙げて論じなさい。

【問２】以下の事項から５つを選び、それぞれ答案用紙３～５行程度で説明しなさい。なお、選んだ事項を（番号とともに）最初に書き、次の行から解答を始めること。

（１）生権力
（２）グレン・グールド
（３）無調音楽
（４）築地小劇場
（５）クエンティン・タランティーノ
（６）松竹ヌーヴェルヴァーグ
（７）武満徹
（８）パスティーシュ
（９）世阿弥
(10) シンディ・シャーマン
(11)『詩学』（アリストテレス）
(12) オリエンタリズム
(13) 岡本太郎
(14) プログラムピクチャー
(15) スーザン・ソンタグ